

2022年1月12日

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

「撮る・創る・映す」映像コンテンツ制作現場のワークフローをクラウドで革新
クラウド型映像コンテンツ制作ソリューション
「KAIROSクラウドサービス」の実証実験で、
モータースポーツの臨場感あるレース中継をライブ配信
映像の無線伝送とKAIROSクラウドの組み合わせにより、効率的な配信を実現

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社(本社:東京都中央区、社長:樋口 泰行、以下パナソニック、2022年4月よりパナソニック コネクト株式会社に変わります。)、およびトライアンプ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:澤口 欣也)は、2021年12月11~12日、静岡県「富士スピードウェイ」で開催されたモータースポーツの大会「インタープロトシリーズ」にて「KAIROS(ケイロス)クラウドサービス」※1によるレース中継のライブ配信の実証に成功しました。

「インタープロトシリーズ」は、日本を代表するトップドライバーたちが同じ車に乗り、フェアな環境でドライビングスキルだけで真剣バトルを行う大会です。ライバルと競い合う迫力や臨場感を映像で伝えるためには、従来のレース会場に常設されている定点カメラに加え、様々な視点からの映像シーンが求められます。しかし、レース会場のような大規模な屋外施設では、カメラの配線引き回しや高額な中継車利用等、限られた時間内での準備や、コスト面で導入が困難でした。そこで、今回の実証実験では、カメラ映像の無線伝送技術と、KAIROSクラウドサービスの組み合わせにより、最小限の機材とリソースで、臨場感あるレースのライブ配信に成功いたしました。

今回は、ドライバーの競い合いで順位変動の多いコーナーにパナソニック製カメラレコーダー「AG-CX350」×2台設置、また、ドライバーの視点をリアルに体験できるようにレーシングカーにカメラ1台を搭載。それらのカメラ映像は映像伝送機器「LiveU Solo」※2を用いた無線伝送で、KAIROSクラウドサービスに直接ストリーミング入力。大掛かりな受信機や配線準備なしで、臨場感ある安定した映像を配信することが出来ました。

また、映像配信の事前準備やスイッチング操作は、KAIROSクラウドサービス環境にアクセスすることで、汎用のノートPCを使用し、1人のオペレーターのみで実現。ノートPCにインストールされたGUIソフトウェア「KAIROS Creator」は、カメラ映像や画像を多レイヤーで組み合わせるなど、直感的なUIで自由にカスタマイズすることができるため、順位表の画のトリミングやサイズ変更、またカメラ映像と重ね合わせた表示の画作りなど、事前準備も容易に行うことが出来ました。また、今まではシナリオに沿った配信のみでしたが、KAIROSクラウドサービスを用いることで、演出の追加など配信直前の変更にも柔軟に対応でき、実況やレース状況に合わせたリアルタイムで臨場感あるライブ配信を視聴者にお届けすることができました。配信コメントでも多数の高評価を頂き、コンテンツの質向上をお客様に実感頂いたことも確認できました。

※1 KAIROSクラウドサービス:2021年10月26日プレスリリース「クラウド型映像コンテンツ制作ソリューション「KAIROS(ケイロス)クラウドサービス」を来春より開始」

<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2021/10/jn211026-1/jn211026-1.html>

※2 「LiveU Solo」:LiveU社の無線環境で使用できる映像伝送機器です。LiveUは5G 4K HEVC対応のリモートプロダクション・ライブ映像伝送ソリューションを提供しています。企業・製品の詳細はホームページ(<https://www.liveu.tv/ja>)をご参照下さい。

【今回の実証実験のポイント】

- 1) カメラ映像の無線伝送からKAIROSクラウドサービスへの入力により、臨場感ある映像を安定してライブ配信
- 2) KAIROSクラウドサービス環境にアクセスすることで、映像配信の事前準備や作り、スイッチング、音声操作を最小限の機材と1人のオペレーターで完結

【各社の役割】

パナソニック: 実証実験用KAIROSクラウドサービス・各種カメラシステム・ノートPC等システム構築

トライアンプ株式会社: コース撮影、配信時の各種設定・映像制作・スイッチング・オペレーション



<コースカメラ (AG-CX350) 撮影状況>



<スイッチング・オペレーション風景>



<オンボードカメラに順位表を組合わせた配信>

パナソニックは、「KAIROS クラウドサービス」の来春サービスインに向け、スポーツをはじめとする様々な現場での映像価値を高めることにより、映像制作現場の皆様と“視聴者の感動体験”を創造し、更なる「現場プロセスイノベーション」を加速してまいります。

【お問い合わせ先】

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社
メディアエンターテインメント事業部 事業開発センター
メールアドレス: bdc@ml.jp.panasonic.com

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。